

みずほCustomer Desk Report 2018/08/16 号(As of 2018/08/15)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	111.40
TKY 9:00AM	111.26	1.1347	126.24	GBP/USD	AUD/USD
SYD-NY High	111.43	1.1355	126.34	1.2715	0.7236
SYD-NY Low	110.44	1.1301	124.91	1.2735	0.7247
NY 5:00 PM	110.76	1.1345	125.66	1.2662	0.7203
NY DOW	25,162.41	▲ 137.51	日本2年債	-0.1200	0.00bp
NASDAQ	7,774.12	▲ 96.78	日本10年債	0.0900	▲ 1.00bp
S&P	2,818.37	▲ 21.59	米国2年債	2.6102	▲ 2.89bp
日経平均	22,204.22	▲ 151.86	米国5年債	2.7338	▲ 3.90bp
TOPIX	1,698.03	▲ 12.92	米国10年債	2.8632	▲ 3.62bp
シカゴ日経先物	22,010.00	▲ 325.00	独10年債	0.3010	▲ 2.30bp
ロンドンFT	7,497.87	▲ 113.77	英10年債	1.2245	▲ 3.65bp
DAX	12,163.01	▲ 195.86	豪10年債	2.5660	▲ 1.60bp
ハンセン指数	27,323.59	▲ 429.34	USDJPY 1M Vol	7.48	0.48%
上海総合	2,723.26	▲ 57.71	USDJPY 3M Vol	8.14	0.44%
NY金	1,185.00	▲ 15.70	USDJPY 6M Vol	8.28	0.28%
WTI	65.01	▲ 2.03	USDJPY 1M 25RR	-1.25	Yen Call Over
CRB指数	186.95	▲ 3.49	EURJPY 3M Vol	9.77	0.47%
ドルインデックス	96.70	▲ 0.03	EURJPY 6M Vol	9.85	0.40%

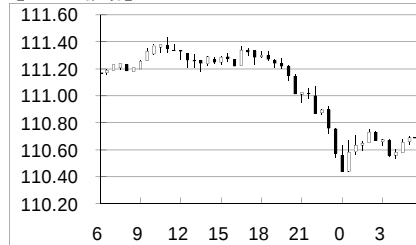
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
8月15日	17:30	英 CPI(前月比/前年比)	7月 0.0%/2.5%	0.0%/2.5%
	17:30	英 CPIQ(前年比)	7月 1.9%	1.9%
	21:30	米 NY連銀製造業景気指数	8月 25.6	20.0
	21:30	米 小売売上高速報(前月比)	7月 0.5%	0.1%
	22:15	米 鉱工業生産(前月比)	7月 0.1%	0.3%

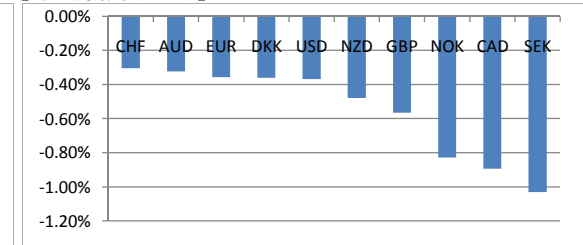
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
8月16日	10:30	豪 雇用者数変化	7月 15.0k	50.9k
	10:30	豪 失業率	7月 5.4%	5.4%
	17:30	英 小売売上高(除自動車燃料、前月比/前年比)	7月 0.0%/2.8%	-0.6%/3.0%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 215k	213k
	21:30	米 住宅着工件数	7月 1260k	1173k
	21:30	米 住宅着工件数(前月比)	7月 7.4%	-12.3%
	21:30	米 建設許可件数	7月 1310k	1292k
	21:30	米 住宅建設許可(前月比)	7月 1.4%	-0.7%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	110.00-111.20	1.1250-1.1450	125.00-126.50

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は下落。昨日は五・十日であったことからドル円は実需フローに支えられていたが、中国株安や人民元安が意識される中、トルコの一部米国製品への関税引き上げなどから貿易摩擦懸念が高まり、リスクオフモードに。米株安や米金利低下もあり、ドル円は110円半ば付近まで下落した。本日のドル円は、貿易摩擦懸念やトルコ危機など依然としてリスクオフ懸念があり、節目の110円が意識されよう。夏休み時期で取引参加者が少なく、ヘッドラインを受けた急な値動きには注意が必要な時間帯が継続しそう。

東京	オセアニア時間、ドル円は111.16を付ける場面も見られたが、狭いレンジでの推移が続き、111.26レベルで東京時間オープン。前日から続くドル買いの流れが継続したことに加えて本日は五・十日であることから実需の買いフローが意識される中、ドル円は高値111.43まで上昇。その後は日経平均株価が軟調推移するのを横目にドル円はじりじりと111.18まで反落し、111.28レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は111.28レベルでオープン。特段材料がない中、欧州時間朝方から米金利が低下したことを受けて売られ、110.95まで下落。その後も軟調に推移し、111.02レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1338レベルでオープン。欧州各国の株価が下落する中、ユーロは1.1309まで下落するも、その後は反発。結局1.1321レベルでNYに渡った。(ロンドンオールデー 00531 444 179 満)
ニューヨーク	本日は五・十日であったことから、海外市場のドル円は実需の買いフローにサポートされ高値111.43まで上昇。しかし、中国の大手IT企業の決算が予想を下回ったことや米中通商問題を嫌気して上海株・人民元安が進み、リスクオフモードの中、クロス円と共に110.95まで反落し、111.02レベルでNYオープン。NY朝方発表の米指標への反応限定的。トルコは前日比で買い戻されているものの、中国経済への不透明感が意識され、ダウ工業株平均株価が300ドル超下落するのを横目にドル円は一目均衡表の雲上限を下抜け安値110.44まで下落。しかし「カタルがトルコに150億ドルの直接投資を確約」とのヘッドラインをきっかけに、ドル円は下げ渋る展開。NY終盤には米長期金利がやや上昇する中、米株も下げ幅を縮小し、ドル円は110.78まで反発。結局110.76レベルでクローズ。一方、ユーロドルは東京時間に1.1347まで買い戻される場面もあったが、トルコショックに伴うユーロ圏の金融機関資産悪化懸念が引き続きユーロの重石となり、1.1310まで下落し、1.1321レベルでNYオープン。海外時間の流れを引き継ぎ安値1.1301まで下落するが、節目の1.13ちょうどを下抜けできず、さらに同時時間帯に上記の「カタルがトルコに150億ドルの直接投資を約束した」との報道伝わったことから高値1.1355まで反発。NY午後は1.1340付近での小動きとなり、1.1345レベルでクローズした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 菊池・田家